

2023年8月の天候（山形県）

目 次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位値更新表
- 7 その他

山形地方気象台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L 023-622-0632

[注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田、新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は、後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

1 天候経過（2023年8月）

【今月の特徴】

- 記録的な高温 ○庄内・最上で記録的な少雨
- ・山形、酒田、新庄など全観測地点で月平均気温の高い方から観測史上1位の値を更新した。
- ・庄内や最上では月降水量の少ない方から観測史上1位の値を更新した所があった。

【概況】

月

この期間、太平洋高気圧に覆われる日が多く、晴れる日が続いた。大気の状態が不安定となって内陸の山沿いでは雷雨となる日もあり、局地的に大雨となった所もあった。また、気温のかなり高い状態が続き、南から暖かい空気が流れ込んでフェーン現象の影響を受ける時期もあったため、日最高気温が35℃以上の猛暑日となった日も多かった。この8月は記録的な高温・少雨となった。

月平均気温はかなり高い。月降水量は村山と置賜で少ない、庄内と最上でかなり少ない。月間日照時間はかなり多い。

上旬

太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多かった。6日から7日にかけては、大気の状態が不安定となったため局地的に雷雨となり、最上では大雨となった所もあった。また、気温の高い状態が続き、特に期間の後半は九州付近を北上する台風第6号の影響でフェーン現象が発生し、庄内を中心に最高気温が35℃以上の猛暑日となる日が続いた。

旬平均気温はかなり高い。旬降水量は少ないから平年並、庄内ではかなり少ない所があった。旬間日照時間は多い、庄内と最上ではかなり多い。

中旬

高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、大気の状態が不安定となったため、内陸を中心に局地的に雷雨となる日もあり、17日と18日は置賜や村山で大雨となった所もあった。

旬平均気温はかなり高い。旬降水量は村山と置賜では平年並から多い、庄内と最上ではかなり少ない。旬間日照時間は平年並から多い、庄内ではかなり多い所があった。

下旬

太平洋高気圧に覆われて晴れの日が続いた。気温もかなり高い状態で経過し、日最高気温が35℃以上の猛暑日となった日も多かった。なお、午後からは大気の状態が不安定となったため、山沿いでは雷雨となった日もあった。

旬平均気温はかなり高い。旬降水量はかなり少ないまたは少ない。旬間日照時間はかなり多い。

2 日々の気圧配置（2023年8月）

- 1日：本州付近は太平洋高気圧に覆われる。
- 2日：引き続き、本州付近は太平洋高気圧に覆われる。
- 3日：引き続き、本州付近は太平洋高気圧に覆われる。
- 4日：引き続き、本州付近は太平洋高気圧に覆われる。
- 5日：引き続き、本州付近は太平洋高気圧に覆われる。
- 6日：東北地方は高気圧に緩やかに覆われる。一方、前線が北海道付近に停滞する。
- 7日：前線が津軽海峡付近に停滞する。一方、東北南部は高気圧に緩やかに覆われる。
- 8日：東北地方は高気圧に緩やかに覆われる。一方、前線が北海道付近に停滞する。
- 9日：東北地方は太平洋高気圧に覆われる。
- 10日：引き続き、東北地方は太平洋高気圧に覆われる。
- 11日：東北地方は高気圧に緩やかに覆われる。
- 12日：寒気を伴った低気圧が三陸沖にあって北西に進み、東北北部を通過する。
- 13日：東北地方は気圧の谷となる。
- 14日：引き続き、東北地方は気圧の谷となる。
- 15日：前線が東北北部に停滞する。また、台風第7号が紀伊半島付近にあって近畿地方を縦断する。
- 16日：台風第7号が山陰沖にあって日本海を北上する。
- 17日：台風第7号が日本海北部にあって北北東へ進む。一方、東北地方は高気圧に緩やかに覆われる。
- 18日：東北地方は高気圧に緩やかに覆われる。
- 19日：本州付近は高気圧に覆われる。一方、前線が津軽海峡付近に停滞する。
- 20日：引き続き、本州付近は高気圧に覆われる。一方、前線が津軽海峡付近に停滞する。
- 21日：引き続き、日本付近は太平洋高気圧に覆われる。
- 22日：引き続き、日本付近は太平洋高気圧に覆われる。
- 23日：引き続き、本州付近は太平洋高気圧に覆われる。
- 24日：引き続き、本州付近は太平洋高気圧に覆われる。
- 25日：引き続き、本州付近は太平洋高気圧に覆われる。
- 26日：引き続き、本州付近は太平洋高気圧に覆われる。
- 27日：引き続き、本州付近は太平洋高気圧に覆われる。
- 28日：台風第10号が三陸沖にあって北へ進む。一方、本州付近は太平洋高気圧に覆われる。
- 29日：引き続き、本州付近は太平洋高気圧に覆われる。
- 30日：引き続き、本州付近は太平洋高気圧に覆われる。
- 31日：引き続き、本州付近は太平洋高気圧に覆われる。

3 気候統計値（2023年8月）

・2023年8月の平均気温、降水量、日照時間

		平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
		本年	平年差 （℃）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分
山形	上旬	28.6	+2.6	かなり高い	17.0	43	平年並	81.2	133	多い
	中旬	28.1	+2.9	かなり高い	43.5	93	平年並	61.3	110	平年並
	下旬	29.2	+5.2	かなり高い	0.0	0	かなり少ない	98.1	177	かなり多い
	月	28.7	+3.7	かなり高い	60.5	40	少ない	240.6	140	かなり多い
酒田	上旬	30.0	+3.8	かなり高い	0.0	0	かなり少ない	107.1	154	かなり多い
	中旬	29.7	+4.0	かなり高い	13.0	18	少ない	94.6	148	多い
	下旬	30.6	+5.9	かなり高い	0.0	0	かなり少ない	120.8	183	かなり多い
	月	30.1	+4.6	かなり高い	13.0	6	かなり少ない	322.5	162	かなり多い
新庄	上旬	28.3	+3.3	かなり高い	39.5	73	平年並	96.0	163	かなり多い
	中旬	28.4	+4.1	かなり高い	13.0	19	かなり少ない	71.7	133	多い
	下旬	29.1	+5.9	かなり高い	0.5	1	かなり少ない	102.8	197	かなり多い
	月	28.6	+4.4	かなり高い	53.0	27	かなり少ない	270.5	164	かなり多い
米沢	上旬	27.8	+2.4	高い	18.5	54	平年並	89.0	136	多い
	中旬	27.2	+2.6	かなり高い	39.0	76	平年並	68.3	115	平年並
	下旬	28.3	+4.8	かなり高い	0.0	0	かなり少ない	106.3	184	かなり多い
	月	27.8	+3.3	かなり高い	57.5	38	かなり少ない	263.6	144	かなり多い

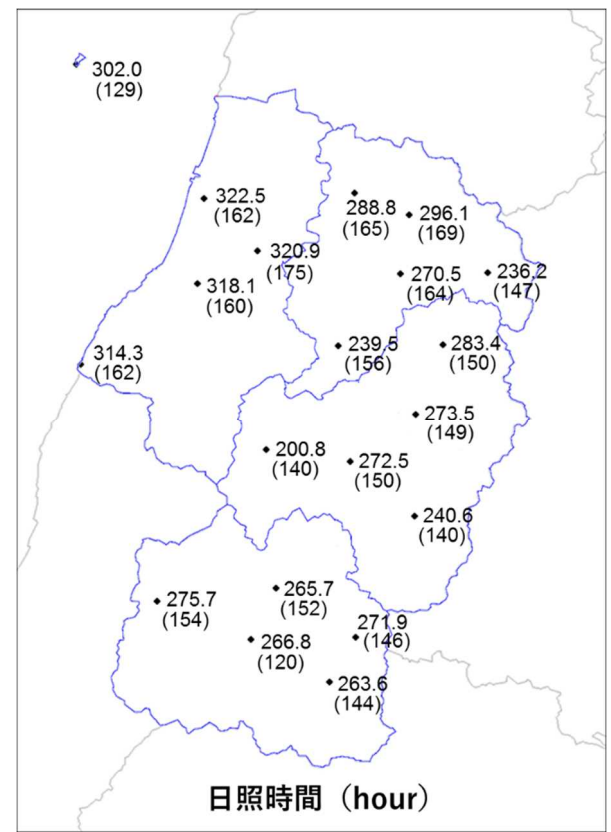
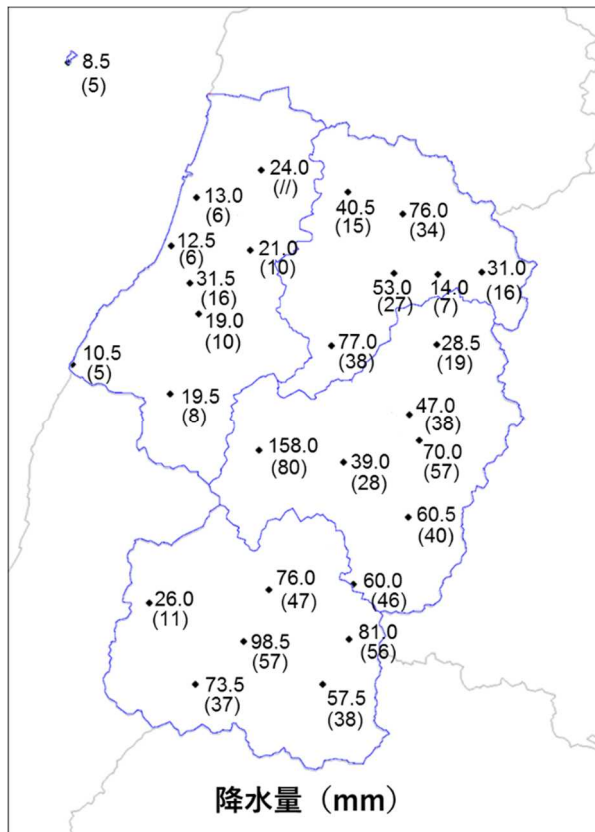
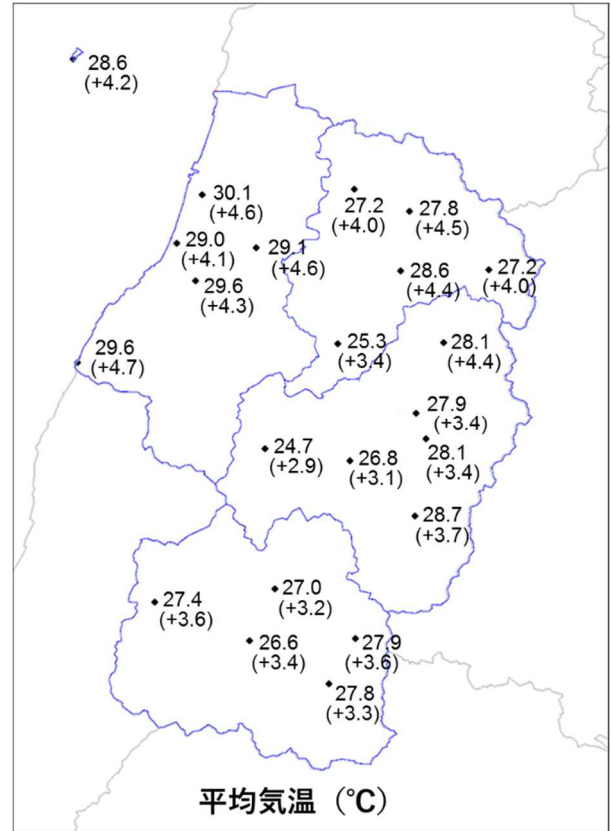
注】次の表示 X:欠測) : 準正常値] : 資料不足値 - : 現象なし (平年値は1991～2020年の平均値)

4 気象経過図（2023年8月）

アメダス 気象経過図：2023年08月01日-2023年08月31日



5 気象分布図（2023年8月）



注】Xは欠測、)は準正常値、]は資料不足値を示す。

平均気温の()内は平年差(°C)、降水量の()内は平年比(%)、日照時間の()内は平年比(%)を示す。

//は平年値なし。平年値は1991~2020年の平均値。

6 極値・順位値更新表 (2023年8月)

気象官署及び特別地域気象観測所(山形・酒田・新庄): 8月として1位~3位更新を記載

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
月降水量の少ない方から (mm)	酒田	13.0	1	—	1937年
月平均気温の高い方から (℃)	山形	28.7 ^{※1}	1	—	1889年
	酒田	30.1 ^{※1}	1	—	1937年
	新庄	28.6 ^{※1}	1	—	1958年
日最高気温の高い方から (℃)	酒田	38.8	3	23日	1937年
	新庄	37.8 ^{※1}	1	24日	1958年
日最低気温の高い方から (℃)	酒田	28.0 ^{※1}	1	9日	1937年
		27.7	2	24日	1937年
		27.7	3	23日	1937年
	新庄	27.2 ^{※1}	1	23日	1958年
		27.1	2	16日	1958年
		26.9	3	9日	1958年
月間日照時間の多い方から (h)	酒田	322.5 ^{※1}	1	—	1937年
	新庄	270.5	2	—	1958年

※同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

※1: 年間を通じても1位を更新

地域気象観測所(山形・新庄・酒田除く): 8月として1位更新を記載(統計期間10年以上)

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日最大1時間降水量 (mm)	高島	55.5 ^{※1}	1	17日	1976年
月降水量の少ない方から (mm)	差首鍋	40.5	1	—	1977年
	浜中	12.5 ^{※1}	1	—	2003年
	鶴岡	31.5	1	—	1976年
	狩川	21.0 ^{※1}	1	—	1976年
	瀬見	14.0 ^{※1}	1	—	1976年
	櫛引	19.0 ^{※1}	1	—	1977年
	鼠ヶ関	10.5 ^{※1}	1	—	1976年
	荒沢	19.5 ^{※1}	1	—	1979年
月平均気温の高い方から (℃)	飛島	28.6 ^{※1}	1	—	1979年
	差首鍋	27.2 ^{※1}	1	—	1977年
	浜中	29.0 ^{※1}	1	—	2003年
	金山	27.8 ^{※1}	1	—	1977年
	鶴岡	29.6 ^{※1}	1	—	1977年
	狩川	29.1 ^{※1}	1	—	1977年
	向町	27.2 ^{※1}	1	—	1977年
	肘折	25.3 ^{※1}	1	—	1977年
	尾花沢	28.1 ^{※1}	1	—	1976年
	鼠ヶ関	29.6 ^{※1}	1	—	1977年
	村山	27.9 ^{※1}	1	—	2002年

月平均気温の高い方から (°C)	東根	28.1 ^{※1}	1	—	2003年
	大井沢	24.7 ^{※1}	1	—	1979年
	左沢	26.8 ^{※1}	1	—	1977年
	長井	27.0 ^{※1}	1	—	1977年
	小国	27.4 ^{※1}	1	—	1977年
	高畠	27.9 ^{※1}	1	—	1977年
	高峰	26.6 ^{※1}	1	—	1977年
	米沢	27.8 ^{※1}	1	—	1976年
日最高気温の高い方から (°C)	飛島	36.0 ^{※1}	1	23日	1979年
	浜中	38.9 ^{※1}	1	23日	2003年
	尾花沢	35.9	1	23日	1976年
	村山	36.8	1	24日	2002年
日最低気温の高い方から (°C)	飛島	27.8 ^{※1}	1	15日	1979年
	浜中	26.6 ^{※1}	1	15日	2003年
	金山	26.8 ^{※1}	1	10日	1977年
	鶴岡	27.8 ^{※1}	1	16日	1977年
	狩川	27.1 ^{※1}	1	24日	1977年
	向町	25.8 ^{※1}	1	10日	1977年
	尾花沢	26.5 ^{※1}	1	16日	1976年
	高畠	25.0	1	10日	1977年

※同じ値（タイ記録）の場合は起日の新しい方を上位とする

※1：年間を通じても1位を更新

7 その他

○生物季節観測

気象庁では、全国の気象官署で統一した基準により「うめ」・「さくら」の開花した日、「かえで」・「いちょう」が紅(黄)葉した日などの植物季節観測を行っています。

【生物季節観測】(2023年8月)

種目	現象	2023年	平年	平年との差	2022年	昨年との差	観測した場所
すすき	開花	8月10日	8月15日	5日早い	8月22日	12日早い	気象台構内

※平年値は1991～2020年の平均値

生物季節観測の2022年の観測状況は、山形地方気象台のホームページに掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/yamagata/detail/phenology.html>

○令和5年の梅雨入り・明け(確定値)

気象庁では、気象予測をもとに行う梅雨入り、梅雨明けの速報とは別に、梅雨の季節が過ぎてから、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行っています。9月1日に各地方の梅雨入りと梅雨明けの時期を確定しました。

山形県を含む東北南部の梅雨入りと梅雨明けの確定値は以下のとおりです。

東北南部	確定値	平年	速報値
梅雨入り	6月9日ごろ	6月12日ごろ	6月11日ごろ
梅雨明け	7月22日ごろ	7月24日ごろ	7月22日ごろ